お店を宣伝しませんか？
無料！あらゆる業種のお店で利用OK。お店の集客強化に貢献します
エキテン

西寺郷太の「ポップ・ステーション」駅：其の六　ティアーズ・フォー・フィアーズ

ngs From The Big Chair

ローランド・オーザバルとカート・スミス。

対照的な声質を持つふたりを中心に、今もなお活動を続けるティアーズ・フォー・フィアーズ。

西寺駅長は、彼らが1985年に発表した『ソングス・フロム・ザ・ビッグ・チェアー』（以下『ビッグ・チェアー』）を、彼自身が影響を受けたアルバムの筆頭に挙げる。

全米ビルボード・チャート首位獲得曲「シャウト」を始め、「ルール・ザ・ワールド」（同首位）「ヘッド・オーヴァー・ヒールズ」（3位）など世界中でヒットしたキャッチーなシングルが多く収録されたのみでなく、アルバム・トータルの魅力を教えてくれた作品だと駅長は語ってくれた。

お店を宣伝しませんか？
無料！あらゆる業種のお店で利用OK。お店の集客強化に貢献します
エキテン

Facebookでいいねする
Twitterでフォローする

HOT 人気の記事

1

恋のあとさき
大輔の場合
1
実話ベースの不倫小説　恋のあとさき４　〜大輔の場合【1】〜

2

人生100年時代、定年前後のギアチェンジとは？ なってはいけない5…

3

恋のあとさき
沙織の場合
2
実話ベースの不倫小説　恋のあとさき２　〜沙織の場合【2】〜

4

恋のあとさき
沙織の場合
3
実話ベースの不倫小説　恋のあとさき３　〜沙織の場合【3】〜

5

アラフィフ女性は、セックス の黄金期。開花する魅力をモテにつなげる…

Search

人生１００年時代 生き方 人生 モック MOC 新型コロナウイルス 大人 pickup 豊崎由美 京都 大人のWEB アラフィフ 日本 音楽 小名木善行 西寺郷太 ポップステーション TOP ねずさん セックス

このアルバムのジャケットの中を開いて不思議に感じたんですが、我々が主にティアーズ・フォー・フィアーズのメンバーと見なしているローランド・オーザバルとカート・スミスのふたりの他に、4人の男性が写っていますね。

ティアーズ・フォー・フィアーズは、ギタリスト、キーボーディスト、シンガーのローランド・オーザバルと、ベーシスト、シンガーのカート・スミスの2人組と思われがちです。

長いキャリアを見れば確かにそれは正しいんですが。

ただ、今回話す1985年にリリースされたセカンド・アルバム『ビッグ・チェアー』の頃は、キーボードにイアン・スタンリー、ドラムにマニー・エリアスを加えた「四人組」として活動していたんです。

まさに「通常のバンド体制」ですよね。

そうなんですよ。

きちんとクレジットもされていますし、ビデオにも出てくるんですが。

ローランドのギターや、カートのベースもすごくいいですしね。

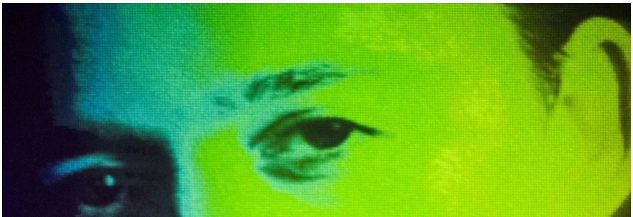
いわゆる普通のロック・バンドなんですよ。

ただ、どうしてもアルバムのいわゆる「表１（ひょういち）」や、取材や写真撮影など表舞台に登場するのが、ローランドとカートふたりのみということもあり、デュエット、ポップ・ユニットというイメージが強かったんですよね。

不思議なんですが、このアルバムには８曲入っていまして、シングル・ヒットした「シャウト」と「マザーズ・トーク」、最終曲の「リスン」の三曲は、ローランドとキーボードのイアン・スタンリーとのふたりでの共作なんですね。

フリーランススタート
入札・落札情報サービスのリプレイス(サーバーサイド)
勝どき駅/中央区
60〜90万円/月
仕事詳細
【リモート含む/元請け直/高単… 23区 六本… 70〜80万円/月 仕事詳細
ネットワーク展開プロセステ… 東京都 110〜130万… 仕事詳細
金融業向けシステム開発 東京23区 50万円/月・業… 仕事詳細
新規開発案件のフルスタック… 東京 100万円/月・… 仕事詳細
転職サービスシステム開発 目黒駅/品… 100万円/月 仕事詳細
COBOL業務システム開発 中央区 40〜45万円/… 仕事詳細
4月案件【COBOL/超… 23区 品川… 60〜64万円/月 仕事詳細
大規模ECサイトのPM 品川 150万円/月・… 仕事詳細
【Java、COBOL】顧客… 名古屋市… 60〜65万円/月 仕事詳細
英会話サービスシステムの新規… 原宿 110万円/月 仕事詳細
ApacheMailDNSインフラ系ミ… 東京23区… 70〜120万円… 仕事詳細
JavaScript幼稚園・保育園向… 中央区 65〜90万円/… 仕事詳細

「リスン」に至っては、イアンが中心になってアレンジも担当し、ローランドが手伝った形としてクレジットされています。



フリーランススタート
新規開発案件のフルスタックエンジニア（フロントエンドメイン） 100万円/月・業務委託(準… 仕事詳細
サーバーサイドエンジニア(Kotlin) 100〜150万円/月 仕事詳細
ネットワーク展開プロセスデータ可視化分析及び業務改善支援/情報通信業 110〜130万円/月・業務… 仕事詳細

いよいよ
変えない理由が
見当たらない
下り最速2Gbps／初年度月額980円（税込）
NURO光
Moc（モック） - Mom…
1,393 「いいね！」の数
このページに「いいね！」
シェア
Moc（モック） - Moment Of Choice moc.style
約1か月前
Moc（モック） - Moment Of C…
2 コメント シェア
Moc（モック） - Moment
フリーランススタート
JavaScript幼稚園・保育園向けシステムにおけるフロントエンジニア業務 65〜90万円/月・個人事業主 仕事詳細
【React】旅館向け非対面接客サービスのシステム開発 150万円/月・業務委託(準… 仕事詳細
入札・落札情報サービスのリプレイス(サーバーサイド) 60〜90万円/月 仕事詳細

え！ローランドとカートではなく、ローランドと鍵盤のイアン・スタンレーの共作がそんなに多いんですか？

そうなんですよ。

それだけでなく代表曲「ルール・ザ・ワールド」はローランドとイアンと、プロデューサー、クリス・ヒューズの共作。

ジャズ・テイストの二曲目「ワーキング・アワー」は、ローランドとイアンと、ドラマーのマニー・エリアスとの三人での共作。

イアンはアルバム８曲中、５曲の根幹に関わっているんです。

残る三曲のうち、「アイ・ビリーヴ」と「ブロークン」は、ローランドの単独作品。

ということで、実は「ルール・ザ・ワールド」などでリード・ヴォーカルを担当して、グループの「もうひとりの顔」であるカート・スミスは、作詞・作曲者としては「ヘッド・オーヴァー・ヒールズ」ただ一曲を、ローランドと共作しているだけなんです。

もちろん、ローランドとカートは13歳で出会った時からの親友で、バンドの軸であることは揺るぎないんですが。

フリーランススタート

【Kubernetes】自社サービスのインフラ構築
渋谷
150万円/月・業務委託(準委任)
仕事詳細

COBOL業務システム開発
中央区
40~45万円/…
仕事詳細

新規開発案件のフルスタック…
東京
100万円/月・…
仕事詳細

英会話サービスシステムの新規構…
原宿
110万円/月
仕事詳細

大規模EC
のPM
品川
150万円/月・…
仕事詳細

入札・落札情報サービスのリプレ…
勝どき駅/…
60~90万円/月
仕事詳細

【クラウド】インフラスペシャ…
五反田
140万円/月・…
仕事詳細

転職サービスシステム開発
目黒駅/品…
100万円/月
仕事詳細

ApacheMailDNSインフラ系ミ…
東京23区…
70~120万円…
仕事詳細

【Java、COBOL】顧客…
名古屋市…
60~65万円/月
仕事詳細

ネットワーク展開プロセスデ…
東京都
110~130万…
仕事詳細

4月案件【COBOL/超…
23区 品川…
60~64万円/月
仕事詳細

JavaScript幼稚園・保育園向…
中央区
65~90万円/…
仕事詳細

えー！今日の今日まで、ふたりが中心のソング・ライティング・チームで、キーボードとドラマーはサポート・ミュージシャンなのか、と思い込んでいました。

このジャケット写真を見れば、そう思ってしまいますね（笑）。

『ビッグ・チェアー』のパッケージを開くと、ローランド、カート、マニー、イアンの他に、プロデューサーのクリス・ヒューズと、その隣にエンジニアのデヴィッド・バスコムらしき人物も写っています。

この六人が、もの凄い才能を持ちより、複雑に個々の味をスパークさせたことが、本作が名作となった理由だと僕は思ってます。

その後、イアンやマニーは脱退し、難産の上に完成したアルバムが1989年9月リリースのサード・アルバム『シーズ・オブ・ラヴ』です。

ここからは、ビートルズ的なサイケデリアが衝撃的なシングル「ソーイング・ザ・シーズ・オブ・ラヴ」が、大ヒットし、今もたまにCMなどに使われますね。

ちなみにこのサード・アルバムでも、カートがローランドと共作したのは「ソーイング・ザ・シーズ・オブ・ラヴ」一曲のみ。

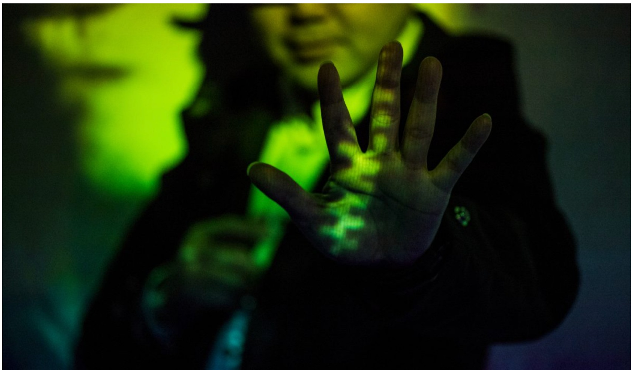
その一曲が強烈に凄いんで、それでいいんですけど。

『ビッグ・チェアー』で共作した「ヘッド・オーヴァー・ヒールズ」もビートルズ的なんで、カートはそういう曲が得意なんでしょうね。

ただ、イアンやマニーが脱退したことで、ローランド・オーザバルのワンマン・バンドと言うべきムードはどんどん加速。

結果的に一時はカートも脱退し、ローランドひとりで「ティアーズ・フォー・フィアーズ」を名乗るまでになります。

ちなみに脱退したイアン・スタンリーは、A-haの『イースト・オブ・ザ・サン、ウェスト・オブ・ザ・ムーン』のプロデュースを手がけたりもしました。



このアルバムの代表曲「シャウト」はキャッチーなフレーズの繰り返しで、インパクトがかなりありますね。

「シャウト」は、言わば「シャウト、シャウト」という歌詞が繰り返されるだけの、キャッチーの極みみたいなシングルです。

ただし6分33秒という長さでシンプルなフレーズやリズムが繰り返される中で、次第に広がりと深み、快感を増してゆくんですよね。

聴くたびに発見がある。

プロデューサーのクリス・ヒューズも、ドラマーとしてレコーディングに参加していると記されています。

確かに二人のドラマーが叩く「ツイン・ドラム」ならではのプリミティヴな高揚感もあって。

以前、若い頃、所属したレコード会社で「一回聴いて覚えられる曲が本当にいい曲なんだ」と語り、「聴く人を驚かして、とことんインパクトある曲を作るべきだ」と主張するディレクターがいました。

要するに「もっとキャッチーな曲書いてこい」というダメ出しでした。

「一回聴いてその曲を理解でき、覚えられることは、もちろん良いことなんですけど、仮にその曲が、10回や20回聴いて飽きてしまうレベルだったなら、僕は全く意味がないと思う！」とムキになって言い返したことを覚えてます。

言い返しながら、脳裏をよぎったのが「シャウト」や「ルール・ザ・ワールド」のことでした。

自問自答しまして……。

自分に対する言い訳かもしれないな、と思ったりしたんです。

そういう意味でも、いつも僕の心の、道標というか、北極星みたいな場所に位置するのが、1985年の、「四人組」のティアーズ・フォー・フィアーズなんですよね。

本当にいい曲かどうか、という判別は難しいものなんでしょうか？

例えば、「ビックカメラ」や「ドンキホーテ」の店内テーマソングだって、かなりキャッチーな曲じゃないですか。

あれはあれで素晴らしい。

でも、それを10回、ましてや20回連続して自分ひとりで聴きたいと思わないと思います。

つまり、変な言葉を言ったり、キャッチーな歌詞やメロディーラインを取り入れ、インパクトだけを求めれば一回聴いて覚えられる曲は意外に簡単に作れるかもしれない。

一時期の熱狂は生み出せる。

でも、何回聴いても、何年経っても瑞々しい発見がある楽曲やアレンジを創るのは、至難の技だなぁと。

アルバムも同じで……。

僕もたくさん作って来ましたが、一枚完成して、ツアーが終わるたびに、達成感と疲労感に襲われ、たいてい「燃え尽き症候群」みたいになってしまうんです。

そんな状態の時、再び心を奮い立たせ、「もう一回アルバムを作ろう」っていう気持ちの切り替えをするために聴くのがこの『ビッグ・チェアー』。

突き抜けたシングルが数曲あるだけでなく「アルバム」としての魅力も兼ね備えている。

ここまで到達したい！と毎回トライする目標。

そんな作品なんですよね。

例えば、飲食店の経営をされている方だったら、「本当にいい食材だけを使っています」って言って、自信を持って営業しても赤字が出たら続かないじゃないですか。

本当にいいものを作っても、ごく少数の人が認めてくれるだけで落ち込むことも多々ありますよね。

世間が悪い、と思いたくなると最悪です。

僕にとって、そっちに傾きそうな陰鬱な心を救ってくれるのがこのアルバムなんです。

この『ビッグ・チェアー』のレベルに到達すればいいのに、出来ないとしたらそれは自分が悪いって。

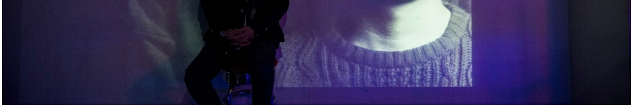
そう考えた方が、希望が残るじゃないですか。

1985年、イギリスから北東貿易風に乗って「ルール・ザ・ワールド」と「シャウト」二つの曲が全米を席巻した。

時代を超越したサウンドは、今も僕たちに新しい発見をさせてくれる。

続いては、お待ちかねプリンスの登場です！お楽しみに。

ngs From The Big Chair



写真：杉江拓哉 TRON　取材：水野高輝 / 鈴木舞

// Amazon.co.jp ウィジェット

西寺郷太の「ポップ・ステーション」　駅：其の四　Ｕ２（前編）

前回のジャミロクワイは、フロントマンとスーパーサブについて詳しくお話を伺いました。この両者なくしてジャミロクワイの世界的成功はなかった。 グループの歴史から読み取る組織論には、思わず手を打ってしまいました。 ... 続きを読む

MOC（モック）

西寺郷太の「ポップ・ステーション」駅：其の四　Ｕ２（後編）

前回のＵ２（前編）では、年月を重ねても揺るがないメンバーの深い絆に驚かされました。 連載第七回目となる今回は、時計の針をぐ〜っと過去へ戻したつもりでお楽しみください。 時は1993年の冬。 右手の車窓に見え ... 続きを読む

MOC（モック）

西寺郷太の「ポップ・ステーション」駅：其の五　ザ・ポリス

今回、西寺駅長が紹介するのは、「ロック史上最強のトライアングル」とも呼ばれる３人組バンド、ザ・ポリス（ロックの枠組みの中にレゲエの要素を取り入れた英国のバンド。 1977年結成。翌年、ベーシスト兼ヴォーカル ... 続きを読む

MOC（モック）

西寺郷太の「ポップ・ステーション」新宿駅　90s〜西寺郷太のカレッジ・デイズ（前編）

今回、西寺「ポップ・ステーション」駅長が立ち寄ったのは、世界でいちばん乗降者数が多い鉄道駅として知られる東京・新宿駅。 東口を降りると、「笑っていいとも!」で知られたスタジオアルタが目の前にあり、その横の通 ... 続きを読む

MOC（モック）

西寺郷太の「ポップ・ステーション」新宿駅　90s〜西寺郷太のカレッジ・デイズ（中編）

前回に引き続いて、今回も東京・新宿からお届けする西寺駅長の「ポップ・ステーション」。 前編では、京都で生まれ育った駅長が、大学進学をきっかけに上京し、東京ライフを始めたばかりの頃のエピソードを語っていただき ... 続きを読む

MOC（モック）

西寺郷太の「ポップ・ステーション」新宿駅　90s〜西寺郷太のカレッジ・デイズ（後編）

東京・新宿を舞台に、ここまで2回に渡ってお届けしてきた西寺駅長のカレッジ・デイズ回想トーク。 今回は、その完結編をお届け。 運命的ともいえるさまざまな出会いを経て、ついに本気を出し始めたミュージシャン・西寺 ... 続きを読む

MOC（モック）

編集・構成　MOC（モック）編集部

人生１００年時代を楽しむ、

大人の生き方マガジンMOC（モック）

Share　Tweet　Contribute

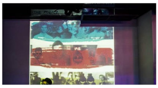
PROFILE

西寺 郷太

1973年東京生まれ京都育ち。早稲田大学在学時に結成したバンド『NONA REEVES』のシンガーであり、多くの楽曲で作詞・作曲も担当している。音楽プロデューサー、作詞・作曲家としては少年隊やSMAP、V6、KAT-TUN、岡村靖幸、中島美嘉などの多くの作品に携わる。また、ソロ・アーティスト、堂島孝平・藤井隆とのユニット「Smalll Boys」としても並行して活動。そして、日本屈指の音楽研究家としても知られ、特にマイケル・ジャクソンをはじめとする80年代の洋楽に詳しく、これまでに数多くのライナーノーツを手がけ、近年では80年代音楽の伝承者として執筆した書籍の数々がベストセラーに。代表作に小説「噂のメロディー・メイカー」(扶桑社)、「プリンス論」（新潮新書）など。テレビ・ラジオ出演、雑誌の連載などでも精力的に活動し、現在WOWOWのインターネット番組「ぷらすと」にレギュラー出演中。

The best way to enjoy Okinawa - 青い沖縄の海を満喫しよう

広告 divers7okinawa.com



西寺郷太の「ポップ・ステーション」駅：其の五 ポリス

moc.style

シニア・高齢者向けの媒体資料DL

広告 メディアレーダー／アイズ

西寺郷太の「ポップ・ステーション」駅：其の四 Ｕ２…

moc.style

西寺郷太の「ポップ・ステーション」 駅：其の二…

moc.style

西寺郷太の「ポップ・ステーション」 駅：其の四 Ｕ２…

moc.style

ミスマッチでアンバランスなものにこそ色気は宿る CKB横山剣が「興奮」する曲とは？…

moc.style

アラフィフ流マイペースな音楽人生。ササキオサム氏の自然体…

moc.style

枡野浩一のモヤモヤすっきり短歌【第５回】

moc.style

西寺郷太の「ポップ・ステーション」 駅：其の二…

moc.style

若者よ、君たちを信頼してる。ジジイたちよ、世の中の役に立とう。高須克弥氏インタビュー…

moc.style

西寺郷太の「ポップステーション」其の八 1995-1999～ノーナ・リーヴス…

moc.style

Moc（モック） - Moment Of Choice moc.style

1,393 「いいね！」の数

MOC
Moment Of Choice
このページに「いいね！」
シェア

公式アカウントをフォローして最新の記事をチェック

関連記事

2021.3.2

西寺郷太の「ポップ・ステーション」　駅：其の一（後編）　マーヴィン・ゲイ

人生は旅のようなもの。カセット・テープや

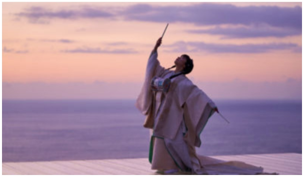
2021.2.23

西寺郷太の「ポップ・ステーション」　駅：其の一（前編）　マーヴィン・ゲイ

人生は旅のようなもの。カセット・テープや

デジタル音源、ときには口笛を吹きながら、僕らは旅路の途中にいる。音楽はいつも旅…

デジタル音源、ときには口笛を吹きながら、僕らは旅路の途中にいる。音楽はいつも旅…



2020.11.22

祈りを込め、天と地の間で舞う。「地水火風空　そして、踊」令和３年正月に配信決定！

舞台芸術として長い歴史を持つ日本舞踊。コロナ禍により未だ舞台での上演は様々な制約や制限を余儀なくされており、 日本舞踊…

2020.6.20

アフターコロナ時代におくる、愛と絶望の物語！文豪ゲーテの小説をオペラ化した『ウ…

新国立劇場が4月10日からお届けしてきた無料配信サービス「巣ごもりシアター」。これまでオペラ6作品、 バレエ3作品を週…

2020.4.4

GOOD ON THE REEL！！新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止と…

3月末に都内屋上にて生配信ライブが行われた、 第2弾アーティストGOOD ON THE REEL、 第3弾アーティスト…

2020.3.28

太鼓と創造力がつくりだす、新・視聴体感芸術。3年にわたる舞台創作を凝縮したドキ…

太鼓芸能集団「鼓童」は、 “映像の魔術師”ロベール・ルパージュ氏が演出を手掛ける「鼓童×ロベール・ルパージュ〈ＮＯＶＡ…

記事一覧

Social Mediaにて最新の情報をお知らせ

© 2021 Smart PublishingTM